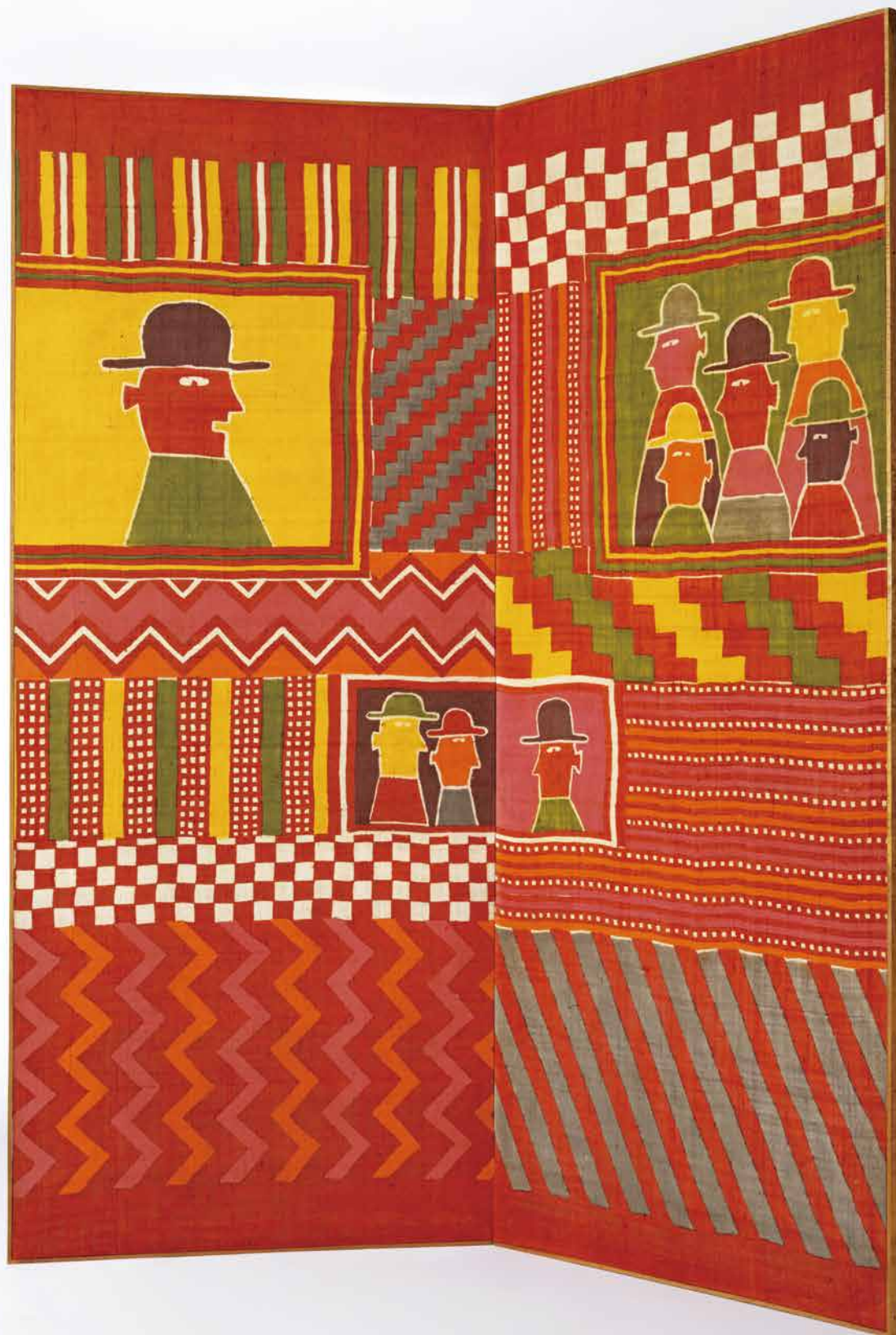


島根県立美術館 ニュース

NEWS_{vol. 105}

毎日がね、新しい今日なんだよ。

「100歳の茶色家、柚木沙弥郎さんからのメッセージ」
『BRUTUS』第974号、2022年12号 p.81



企画展

柚木沙弥郎 永遠のいま

今日という、
一番新しい自分の境地を生かす。
飛んでいかなきゃいけない。
飛び出せ、毎日ね。

「100歳の染色家・柚木沙弥郎さんからのメッセージ」
[BRUTUS] 第974号 2022年12月・p.81



《型染むら雲三彩文着物》1967(昭和42)年 日本民藝館蔵

「いま」を積み重ねた「永遠」

染色家、柚木沙弥郎（1922-2024）の色彩豊かな作品は、見る人の心を躍らせるような楽しさや喜びにあふれています。その創作世界は大変豊かなもので、染色作品は大きな展開を見せたうえに、版画やコラージュ、絵本、立体作品など、ジャンル垣根を超えた作品も制作されました。それを可能にしたのは、作家の自由な創造精神のありようだったと思われます。毎日まるで生まれ変わるように、新しい今日を繰り返しながら制作された作品の一つ一つは、作家のその時々「いま」を刻み込み、時を経ても色あせない魅力を持ったのです。

染色への道

柚木の生まれた柚木家は岡山県倉敷市玉島の旧家で、祖父の玉郎は実業家で南画家、



父の久太は洋画家でした。柚木は久太の暮らす東京で生まれ、東京帝国大学に進学し、美学美術史を学ぶものの、学徒出陣を余儀なくされます。戦後は、父の実家がある玉島に復員し、倉敷の大原美術館に職を得ました。そこで民藝思想に触れたことをきっかけに芹沢銈介へ弟子入りし、染色の道へと進みます。

島根とのゆかり

そんな柚木と島根の土地を結び付けたのは、松江市布志名焼の陶芸家、船木道忠・研児の親子でした。柚木は作家活動を始めて間もない20代のころ、道忠の器を「思い切って一枚買ってみた」そう、これが柚木と船木家の出会いとなりました。以降、公私にわたる付き合いが続き、柚木はたびたび船木家を訪ねています。特に息子の研児とは年齢も近く、民藝思想のもと、戦後に作家活動をスター

《注染水玉文布》(部分)1950年代 日本民藝館蔵

関連企画

記念講演会

聴講無料

「柚木沙弥郎、紡ぎだす色と形の無限世界
―染めて、描いて、切って、貼って、教えて、創る―

講師 降旗千賀子氏(元目黒区美術館学芸係長 & 4+doキュレーター)
日時 5月25日(日) 14:00～(13:30開場／約90分)
会場 ホール(190席・当日先着順)

〈講師紹介〉

色の原材料を取り扱った「色の博物誌」展や建築、デザイン等に関する数々の展覧会を企画。展覧会と連携した普及事業も手掛ける。2022年に女子美術大学で開催された「柚木沙弥郎の100年―創造の軌跡」展の企画協力を行う。

展示室即興演奏会

要企画展観覧料

展示空間に合わせた即興演奏を行います。
心地よい音とともに作品をご鑑賞ください。

出演 nensow氏(音楽家)

日時 4月19日(土) 14:00～、16:00～(各回約45分)
会場 企画展示室

ギャラリートーク

要企画展観覧料

当館担当学芸員による展示解説

日時 4月18日(金) 10:00～(約60分)
4月26日(土)、5月31日(土) 各日 14:00～(約60分)
会場 企画展示室

2025年

4月18日(金)→6月16日(月)

開館時間 10:00～日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)
休館日 火曜日(ただし4月29日、5月6日は開館)

惜しまれつつも2024年1月に101歳の生涯を閉じた染色家、柚木沙弥郎。作家を代表する染色作品に加え、版画やコラージュ、絵本、立体作品など、ジャンルの垣根を超えて制作された作品の数々をご紹介します。

〔観覧料〕

オンラインチケット・ローソンチケット(企画展+コレクション展セット)
一般:1,100円、大学生:800円、小中高生:400円
当日券(企画展+コレクション展セット)
一般:1,450(1,160)円、大学生:1,100(880)円、小中高生:500(400)円
当日券(企画展のみ)
一般:1,300(1,040)円、大学生:1,000(800)円、小中高生:500(400)円

●4月29日(火)～5月11日(日)は児童福祉週間により中学生以下は観覧料無料●オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます(Lコード:63428)●未就学児無料●()内は20名以上の団体料金●小中高生の学校教育活動での観覧は無料●身体障害者手帳(障害者手帳アプリ:ミライロID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名様まで無料

主催 島根県立美術館、NHK松江放送局、NHKエンタープライズ中国、TSKさんいん中央テレビ、山陰中央新報社、SPSしまねグループ
後援 朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、BSS山陰放送、日本海テレビ、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン
制作協力: NHKプロモーション

※掲載作品の作者はすべて柚木沙弥郎



《型染幾何文布二曲屏風》1955(昭和30)年 個人蔵



《雨ニモマケズ》(絵本原画)2016(平成28)年
公益財団法人 泉美術館蔵



《ツバメのうた》2015(平成27)年 公益財団法人 泉美術館蔵

トさせたという点でわかり合えることが多かったと思われます。また、偶然にも研児の妻・玲子が女子美術大学工芸科で柚木に教えを受けていたことも、柚木と船木家を気安い関係にさせたのでしょう。

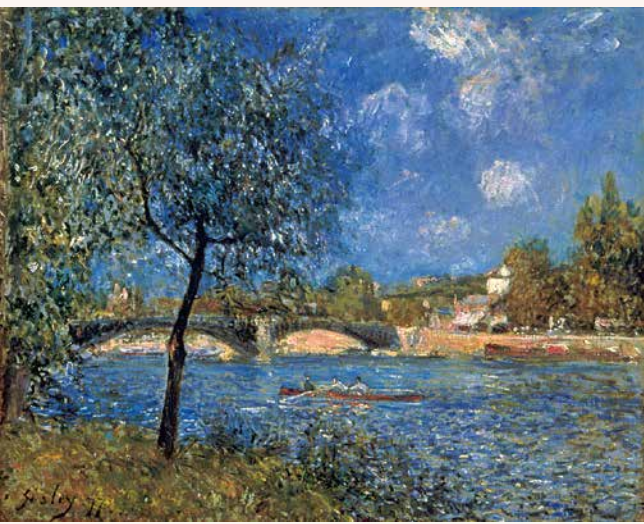
本展では島根地域の特別展示として柚木と研児の交友を、両家に残る互いの作品で紹介します。《型染幾何文布二曲屏風》はその象徴となる作品で、柚木から贈られた布を研児が屏風に仕立てたもの。柚木作品のなかでも葛布を染めた作品は珍しく、本作の他は1点が知られるのみ(《型染幾何文布》日本民藝館蔵)という点でもぜひご覧いただきたい作品です。にぎやかな模様が、濃い紫や臙脂色など彩度を抑えた色で染められ、生地の風合いを生かして染める

柚木作品らしく、葛布の持つ質感と染めた模様が一体となっています。研児が屏風の返礼として柚木に贈った6枚組のスリッパウェア《中皿》も展示の予定です。

広がる柚木世界

その他にも、長さ5mを超すダイナミックな染色作品《注染水玉文布》や、公共空間を鮮やかに飾る大型タペストリー《波動》、楽しさあふれる絵本の原画に、97歳で取り組んだ長さ約12mの絵巻物《鳥獣戯画》など注目いただきたい作品ばかり。代表作と資料約300点をもって、作家の75年にわたる創作活動の全貌に迫る本展に、ぜひお越しください。

(主任学芸員 山本麻代)



アルフレッド・シスレー《舟遊び》1877年

展示室
1 水辺の
展示室

第1期

5月14日〔水〕－6月30日〔月〕

Shimane Art Museum Collection コレクション展

緩やかに流れる

セーヌ川の水辺の風景

印象派の風景画家シスレーの描いたパリ近郊の風景です。セーヌ川には人が3人乗った赤いボートが浮かび、シュレーヌの橋が見えます。明るい陽光のもと、こちらの岸には影をつくる木立、空には白い雲、向こう岸には家も描かれています。シスレーは、こうしたパリ郊外の穏やかな川辺の風景を印象派の様式で生涯にわたって描き続けました。

緩やかに流れるセーヌ川と太陽の光によって輝く水面を、印象派の画家たちは好んで描きましたが、当時、船による物資輸送のため新しい土木技術で川の流れを緩やかにしたことが指摘されています。シスレーの風景画からは、豊かな自然のイメージに加えて、近代化によって変化する19世紀フランスの市民生活を垣間見ることができるとです。

内気で穏やかな性格だったようで、印象派の画家としてはモネやルノワールほど名も知られてはいませんが、死後、仲間の画家から「最も印象派らしい画家はシスレーだった」と評されています。

(専門学芸員 河野克彦)

観覧料

一般 300円
大学生 200円
高校生以下 無料

○ミュージアムバスポートをご使用いただけます。
○企画展と同日に観覧の場合は半額

展示室
2 北
斎

北斎コレクション

前年度 第11期

3月26日〔水〕－4月21日〔月〕

北斎コレクション第1期

特集「北斎博覧会」

4月23日〔水〕－5月26日〔月〕



葛飾北斎《富士三十六景 凱風快晴》〔新庄コレクション〕
天保初期(1830～34)頃

1970年の大阪万博の折の「万国博美術館」で、世界の名画と共に展示された「赤富士」の逸品。

北斎コレクション第2期

5月28日〔水〕－6月30日〔月〕



葛飾北斎《雲龍図》(部分)〔永田コレクション〕
1841(天保12)年

「試筆八十二翁出」の落款から、82歳の北斎が正月の筆始めに描いたことが分かる肉筆画です。

北斎コレクション第3期

特集「夏休み浮世絵観察会①」

7月2日〔水〕－8月4日〔月〕



葛飾北斎《富士三十六景 山下白雨》〔新庄コレクション〕
天保初期(1830～34)頃

快晴、稲妻、夕立という様々な気象状況を一つの図にまとめる奇抜な構想は、北斎ならでは。

コレクション展示室2(「北斎展示室」)では、当館が誇る北斎コレクション・約1,600件の中から、北斎の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約40点をいつでもご覧いただけます。(約1ヶ月ごとに全点展示替)。常に様々な分野・年代の北斎作品をご鑑賞いただける、世界的にも極めて珍しい展示室です。

展示室 水辺の
1 展示室

前年度 第8期

3月19日[水]－5月12日[月]

第1期

5月14日[水]－6月30日[月]

当館の所蔵する「水を画題とする絵画」の名品を展示します。近世絵画・日本画は今年度、全7期の展示、西洋絵画・洋画は通期展示(一部展示替えあり)の予定です。



ポール・シニャック《ロッテルダム、蒸気》1906年

第2期

7月2日[水]－8月18日[月]

展示室 西洋絵画
1 洋画

前年度 第3期

島根ゆかりの洋画家たち

1月15日[水]－5月12日[月]



香月泰男《冬の川(東)》1963(昭和38)年

第1期 戦後80年

5月14日[水]－9月29日[月]

画家たちは戦争といかに向き合い、どのように戦後の道を歩んでいったのでしょうか。戦後80年という節目の年に、当館コレクションで振り返ります。

展示室 近世絵画
1 日本画

前年度 第8期

3月19日[水]－5月12日[月]

第1期

5月14日[水]－6月30日[月]

第2期 落合朗風

7月2日[水]－8月18日[月]



落合朗風《秋の北山》1931(昭和6)年

昨年企画展を開催した、島根ゆかりの日本画家・落合朗風(1896～1937)。朗風は、川端龍子の主催する青龍社において活動したこともありました。新収蔵の作品とともに、龍子と朗風の画風の違いについて考えてみます。

展示室 工芸
3 芸

河井寛次郎と民藝の仲間たち

3月19日[水]－6月30日[月]

安来市出身の陶芸家、河井寛次郎は柳宗悦らと民藝運動を興したことで知られます。寛次郎の作品を中心に、民藝運動に影響を受けた作家作品も合わせて紹介します。



河井寛次郎《呉須辰砂草絵畫》1938(昭和13)年

島根の漆芸 7月2日[水]－8月18日[月]

展示室 写真
4 真

島根県立美術館 写真コレクションの30年

1月16日[木]－4月14日[月]

結成70周年記念 奈良原一高《無国籍地》と「グループ“実在者”」の仲間たち

4月17日[木]－7月14日[月]



奈良原一高《無国籍地》1954(昭和29)年 ©Narahara Ikko Archives

1954年、奈良原一高は伝説の個展「人間の土地」に先駆けて廃墟の詩《無国籍地》のシリーズを撮影しました。その時、奈良原は戦後の前衛美術運動のなかにいたのです。「グループ“実在者”」の仲間たちと同じ廃墟に取材した記念碑的な作品群を展覧します。

展示室 彫刻
5 刻

木の魅力

1月23日[木]－4月21日[月]

清水九兵衛 4月24日[木]－7月7日[月]

「affinity(親和)」のテーマのもと、日本の風土に適應する彫刻の可能性を探索した清水九兵衛。その作品とマケットをご紹介します。



清水九兵衛《CORRESPONDING FORM 4》1995(平成7)年

かわばたりゅうし
川端龍子展

和歌山県に生まれた川端龍子（1885～1966）は、洋画家としてまず活動を始めますが、大正3（1914）年に日本画へ転向。再興日本美術院で活躍し、脚光を浴びました。しかしながら、「鶏に孵された家鴨の子」のような扱いなどに不満を抱き、昭和3（1928）年には同院を脱退。

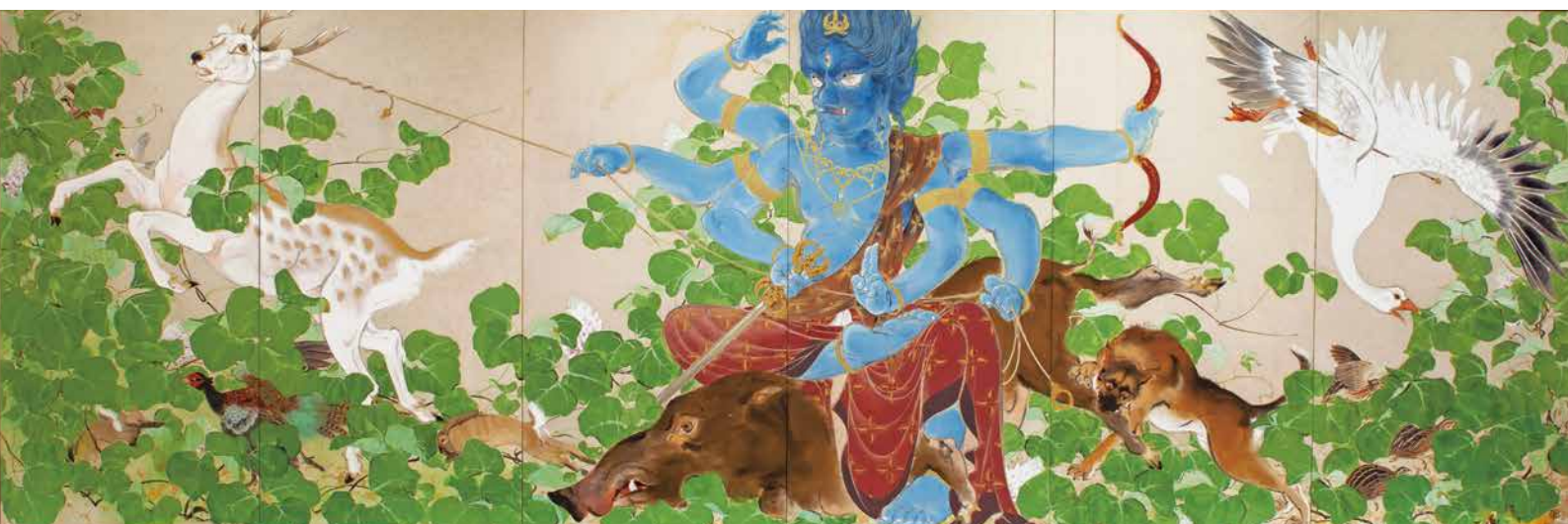
そして翌年の6月28日、在野の日本画団体・青龍社を自ら創設しました。展覧会の鑑賞スタイルが時代とともに変化していることを見抜いた龍子は、「会場芸術」の名のもと日本画の既成概念を超越した作品を次々に発表していくこととなります。80年という歳月を通して、龍子がどのような「日本画」像を探求していったのか、本展では考えていきます。

2025年
7月18日〔金〕
→ 8月25日〔月〕

開館時間 10:00～日没後30分
（展示室への入場は日没時刻まで）

休館日 火曜日

会場／企画展示室、展示室5



川端龍子《狩人の幻想》1948（昭和23）年、和歌山県立近代美術館蔵

関連企画

オープニングセレモニー

参加無料

要事前申込

日時 7月18日（金）9時40分～（受付9時15分／約20分）
会場 ロビー

特典 記念品（代表者のみ進呈）

▼申込方法は左記をご覧ください。

オープニングギャラリートーク

要企画展観覧料

日時 7月18日（金）10時頃～
会場 企画展示室

記念講演会

聴講無料

「日本画家・川端龍子の会場芸術」

講師 木村拓也氏（天田区立龍子記念館副館長兼学芸員）
日時 7月19日（土）14時～（30分前開場／約90分）
会場 ホール（190席／当日先着順）

美術講座

聴講無料

「川端龍子と落合朗風」

講師 五味俊品（当館主任学芸員）
日時 8月10日（日）14時～（30分前開場／約90分）
会場 ホール（190席／当日先着順）

ギャラリートーク

要企画展観覧料

担当学芸員による展示解説

日時 7月27日（日）、8月16日（土）各日14時～（約60分）
会場 企画展示室

オープニングセレモニー
ご招待

参加無料

要事前申込

抽選で30名様を企画展「川端龍子展」のオープニングセレモニーにご招待いたします。また当日抽選でテーブルカットにご参加いただけます。

日時 7月18日（金）9時40分～
（受付9時15分／約20分）

会場 ロビー
特典 記念品（代表者のみ進呈）

申込方法

ハガキまたはFAXに必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

①お名前（ふりがな）②郵便番号・住所③電話番号 以上必須事項 ④FAX番号⑤同伴者のお名前（ふりがな）1名まで可

申込先

〔ハガキ〕〒690-0049 松江市袖師町1-5
島根県立美術館「川端龍子」展
オープニングセレモニーご招待係
〔FAX〕0852-55-4714

申込締切 7月2日（水）当日消印有効

○申込多数の場合は抽選となります。
○お客様の個人情報は、招待状の発送（郵送）以外には利用いたしません。
○当選者の発表は招待状の発送（2025年7月7日頃）をもってかえさせていただきます。（電話などでの個別のお問合せはできません。）

Event イベント情報

●「柚木沙弥郎 永遠のいま」展関連

〈美術館キネマ〉鑑賞無料

「リーチ・ポタリー1952 陶芸家バーナード・リーチの工房」

(2011年/カナダ/本編33分+特典映像36分/DVD上映/日本語字幕)

日時 4月27日(日)、5月11日(日)
各日①10:30～②14:00～
(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

世界初!リーチ自身が案内するリーチ工房

20世紀を代表する最も重要で影響力のあった芸術家のひとりバーナード・リーチ。近年見つかった1952年のリーチ工房の映像を、本編はリーチ本人、特典映像は高弟のウォーレン・マッケンジーが解説しています。

リーチ本人の解説録音は2010年に奇跡的に見つかったものです。



「#ゆのきさみろう @島根県立美術館」 SNS投稿キャンペーン

Instagramで企画展の投稿をしてくださった方に
ポストカードをプレゼントします。

期間 4月18日(金)～6月16日(日)

受付 Instagramに投稿した画面を
ミュージアムショップでご提示ください

先着
200名

※お一人様1枚まで

〈ワークショップ〉

型から作って染める、きんちゃく作り

要材料費 要事前申込

巾着袋を自分の好きな模様と色に
染める型染体験活動です。

日時 5月10日(土)13:00～16:00(約180分)

講師 山口邦子(型染作家)

会場 アートスタジオ

対象 小学生以上

※付き添いの方も参加者としてお申し込みください。

定員 15名

材料費 1,000円

山口邦子氏プロフィール

鳥取県在住の型染作家。女子美術大学の工芸科で柚木沙弥郎に学ぶ。
国画会を中心に作品を発表している。

ワークショップ申込方法

参加ご希望の方は件名にイベント名「型から作って染める、きん
ちゃく作り」を明記の上、①氏名(ふりがな)・年齢、②住所、③
電話番号を記載し、下記アドレスへお申し込みください。

申込先 sam@pref.shimane.lg.jp

申込締切 4月26日(土)

参加通知 締切後3日以内に返信をお送りします。

※sam@pref.shimane.lg.jpを受信できるように設定してください。

※お申込多数の場合は抽選となります。

※お客様の個人情報は、当選・落選の連絡以外には、利用いたしません。



島根県立美術館 子ども広報隊



参加無料 要事前申込

美術館で広報のお仕事体験がで
きます。広報担当として、制服を着て、美術
館の魅力を発見、発信する体験をして
いただきます。

日時 5月25日(日)10:30～11:30

対象 小学3・4年生

定員 3名程度

子ども広報隊申込方法

参加ご希望の方は美術館ホームページのお問い合わせフォームの各欄
に必要な事項を入力し、送信してください。

①氏名(フリガナ)※保護者の方の氏名を入力②メールアドレス

③件名「子ども広報隊」

④ご意見・お問い合わせ欄:参加される児童様の「氏名(フリガナ)」、
「学年・年齢」、「住所」、「電話番号(保護者の連絡先)」

お問い合わせフォーム お申し込みはこちら▶

申込締切 5月11日(日)

参加通知 締切後3日以内に返信をお送りします。

※shimane.art-museum@sps.sgn.ne.jpを受信できるように設定してください。

※お申し込み多数の場合は抽選となります。

※当日お写真を撮影し、当館の公式SNS等へ公開予定です。

※お客様の個人情報は、当選・落選の連絡以外には、利用いたしません。



子どもと美術館の鑑賞後先時間 かぞくの時間



毎日午前中は
「かぞくの時間」
(10:00～12:00)



「絵本とおでかけ 展示室」

絵本のお話を聞いて、
お話をヒントに作品鑑賞の
お散歩に出かけます。

日時 毎月第3木曜日(4月17日、5月15日、6月19日)
各日10:30～(約40分)

会場 キッズライブラリー、コレクション展示室

集合 キッズライブラリー(先着20名程度)

料金 コレクション展観覧料 一般300円、大学生200円、小中高生無料

※こころカード(アプリ)提示でお子様と来館の方4名までコレクション展観覧無料

子どもたちにとって美術の楽しさ、芸術の喜びを分かちあえる場所となるよう、毎日午前中「かぞくの時間」を実施します。
美術館でゆたかなひとときをお過ごしください。

Gallery

ギャラリー展示のご案内

会 期	展 覧 会 名	内 容	問合せ先
4月23日(水) - 4月27日(日)	第7回 クリエーション会展	1室 クリエーション会員による作品展	大森 080-4550-0439
4月23日(水) - 4月27日(日)	西陣美術織 若冲と北斎展	3室 江戸時代の画家、伊藤若冲や北斎の代表作を西陣織の伝統技術で再現した織絵等の展示。	西陣美術織全国巡回展実行委員会 072-808-2223
4月30日(水) - 5月 5日(月)	木匠展	1室 木工芸作品の展示。	木匠会事務局 (深田)090-4693-3008
5月 7日(水) - 5月12日(日)	女子美術大学創立125周年記念 山陰女子美展	全室 女子美術大学同窓会山陰支部による作品展。	柴田 090-9415-6232
5月14日(水) - 5月19日(日)	巨樹の古模様と癒しの水彩画	1室 写真、水彩画の展示。	酒井 090-3176-2275
5月14日(水) - 5月18日(日)	第54回 松江ちぎり絵サークル展	2室 松江ちぎり絵サークルの会員による工芸和紙を使った作品の展示。	森山 0852-24-6079
5月23日(金) - 5月26日(日)	第18回 しまね写真展	2・3室 島根県を中心とする写真愛好家のための写真公募展。	川上 090-2801-5253
5月28日(水) - 6月 2日(日)	瀬古喜代栄・油彩画展	1室 昭和美術会会員による油彩画展。	瀬古 0852-26-8024
6月 4日(水) - 6月 8日(日)	第28回 島根日本画協会展	1室 島根日本画協会会員による日本画作品展。	米原 090-7979-0215
6月15日(日) - 6月22日(日)	第133回 島根洋画展「島根洋画会 創立80周年記念展」	全室 島根洋画会会員・準会員の作品と、一般から公募した作品の展示。	森井 090-2000-4717
※6月17日(月)は休館日	第40回記念 島根書道協会展	全室 県内の会員・準会員・会友に加え一般・ヤングの書道作品を展示。	植田 0852-26-6498
6月27日(金) - 6月30日(日)			
7月 2日(水) - 7月 7日(日)	「ひびきあう形・生命への思索」目次隆志 個展	1室 独立展及び島根洋画展の出品作品を、大作中心に新作も含めて約20点展示。 目次 080-1933-7077	

○開室時間は通常10:00～18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。 ○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。
○ギャラリーは一般の方に貸し出ししているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。



湖畔のレストラン「RACINE」

春のティータイムはラシヌの とおきのデザートを

湖畔のレストランラシヌでは、特製デザートプランのRACINEアフタースヌーティーをご用意しました。ご予約限定とはなりますが、ぜひお楽しみください。

合わせてオープンから人気の「抹茶ティラミス」に奥出雲産のドライエディブルフラワーをあしらいました。ティラミスも春めいてまいりました。

[提供時間] 11:00～

- ・アフタースヌーティー(セイボリー・ドリンク付き)…4,400円(税込) **事前予約制**
- ・抹茶ティラミス…580円(税込)

■営業時間 10:00～18:00 (美術館開館時間に準じます) ■レストラン電話 0852-25-6562

※状況により閉店時刻が早まる場合があります。

■ランチ [11:00～15:00] ■ディナー [17:00～] ※完全予約制



FREE

4月29日(火)～5月11日(日)は、
児童福祉週間です。

期間中中学生以下の方は展示会を無料でご覧いただけます。

年間パスポートのご案内

当館主催の企画展、コレクション展を何度でもご覧いただけるほか、下記の6つの特典があります。ご利用の際は、各展示室前受付でパスポートを提示してください。プレゼントとしても購入いただけます。



※ギャラリー(貸出施設)は主催者が異なるため別料金となります。

【会員特典】

企画展・コレクション展を何度でも
ご鑑賞いただけます。(購入日より1年間)

①企画展観覧料 **半額**
(同伴者2名様まで)

②ミュージアムショップでの
お買い物が **5%OFF**

③「美術館ニュース」や各展示会のチラシをお届け(年4回)

④提携施設を割引料金でご利用いただけます。

足立美術館、植田正治写真美術館、愛媛県美術館、尾道市立美術館、サントリー美術館、島根県立石見美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、とっとり花回廊、広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、水木しげる記念館、DIC川村記念美術館、山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

⑤レストランで
ソフトクリーム200円

⑥来館ポイント5つで
ワンドリンクサービス

年会費 一般3,000円 大学生1,800円 小中高生900円
購入は美術館総合受付(パスポート窓口)までお越しください。

有効期限内に継続購入された場合、**無料観覧券を1枚進呈**いたします。

最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。

ミュージアムショップ

Museum Shop

「柚木沙弥郎 永遠のいま」 関連グッズを販売

ミュージアムショップでは「柚木沙弥郎 永遠のいま」開催に合わせて、公式展覧会図録(3,300円税込)を販売します。このほか、民藝の世界をたっぴり楽しめる展覧会関連グッズを販売予定です。ぜひ店頭で商品をご覧ください。

オンラインショップ

<https://www.sam-museumshop.shop/>



島根県立美術館メールマガジンEニュース

配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、美術館ホームページのお問い合わせフォームよりお申込みください。



島根県立美術館



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL0852-55-4700 FAX0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>